

課題挑戦型インターンシップ 最終報告

13班 メンバー

・高橋秀仁・菊田海斗・工藤紗季・佐藤好

目次

- 1.提供された課題
- 2.小堅地区の現状・課題
- 3.私達が提案する廃校利用案
- 4.まとめ

1.提供された課題

新小墾コミュニティセンター
の二階部分の利活用のアイデア

2.小墾地区の現状・課題

- 1975年当時の1554人と比べ、現在は243世帯698人と半分以下に減少している。
- 若者が県外に進学・就職、若い夫婦は鶴岡に新居を構えるなど、少子高齢化に起因する状況が続いている。
- 地域住民が集まれる場所がない。
- また、食料品などを購入するお店がない。

このような現状から・・・

幅広い世代の地域住民が集まって、楽しめる場所を作りたい！

3. 私たちの提案

- 1つ目の教室を放映室にする。
- 2つ目の教室を漫画・ゲームを楽しめる教室にする。
- 和室はトランプやオセロなどを置き、休んだり団らんしたりするフリースペースにする。
- 子育てがおわった保護者から絵本を寄付してもらい、その本を次の子育て世代に譲る絵本回収BOXの設置。

放映室設置の利点

- 様々なジャンルの映画を放映することで見る人が興味を持つ。
- 高齢者は昔の映画を懐かしみながら見ることができ、孫と一緒に楽しむことができる。



- 様々な世代の住民が訪れることが期待できる。

漫画・ゲーム部屋の利点

- 子供たちは漫画やゲームが好きな傾向にあり、子供たちが足を運ぶことに繋がる。
- ファミコンクラシックミニを設置することにより、親世代は懐かしみながら子供と一緒に楽しむことができる。



- コミセンに沢山の人が訪れることが期待できる。

絵本回収BOXの利点

- 子育てを始める親は絵本を無料で入手することが可能。
- 絵本を捨てることなく地域内で循環させることが可能。
- 子育てを始める親が興味をもち、足を運ぶ理由になる。



- 子育てする親が小堅地区に定住し、将来的に子供が増えることが期待できる。

放映室の概要【1】

- ターゲットは地域住民。
- 週に1回、映画を放映する。
- 大人300円、子供100円、幼稚園児以下無料。
- 月に1回孫デーを設け、おじいちゃん・おばあちゃんと孫で映画を見に来たら料金が半額になる。

放映室の概要【2】

- 映画はパブリックドメインムービーズの中から放映する。
- 季節によって放映する映画のジャンルを変更。
例) 夏 => ホラー
 冬 => クリスマス
- ペットボトルの飲み物やポップコーンの販売。
- 次週の映画を3つの中から選んでもらい選ばれた映画を放映する。

漫画・ゲーム部屋の概要【1】

- 公益大生から漫画本を寄付してもらいその本を並べる。
- ファミコンクラシックミニとモニターをそれぞれ3台ずつ設置。
- Switchを持っている子供は持ち込んでモニターにつないで遊ぶことも可能。

漫画・ゲーム部屋の概要**[2]**

- 料金は1時間100円。
- 部屋を使うルールをしっかりと決める。

フリースペースの概要

- トランプやオセロを設置。
- 映画を見終わった人が休めるようにテーブルを設置。
- 外からの持ち込みOK。

絵本回収BOXの概要

- コミセンの入り口前に回収BOXを設置し、持ってきた絵本を入れてもらう。
- 寄付された本は廊下に並べ、欲しい本の名前を用紙に書き自由に持って行ってもらう。

まとめ

- 様々な企画を設けることで、多くの人に興味をもってもらい地域住民に楽しんでもらいたい。
- 地域住民だけでなく、他地域から興味をもって訪れる人も増やしたい。
- 私たち大学生が中心となり、この企画を運営していきたい。